

# ふれあ

編集・発行  
豊中市北桜塚2丁目2番1号  
社団法人豊中市シルバー人材センター  
TEL(06)856-1777(代)

▼このほど、第5次大阪府雇用基本計画が策定されましたが、その中で、「本格的な高齢化社会の到来を迎えて、経済、社会の活力を維持し、発展させていくためには、高齢者の高い就業意欲を生かし、その能力を有効に発揮させていくことが必要であり、高齢者の

## 早まる高齢化社会

### 「より豊かな生き方」として

### シルバー人材センター

雇用、就業機会の確保が重要な課題であると述べています。  
▼同資料にある「人口高齢化の推移と見通し(大版)」によると、55才以上の高齢者の人口総数に占める割合が、昭和55年には14%(国勢調査による)であったものが、10年後の昭和65年には20%、業が昭和60年には60%を

上回るであろうといった就労状況の中で、大阪府としても高齢者の雇用の安定に努めるいくつかの基本施策を打ち出していますが、その一つとして「シルバー人材センター(高齢者能力活用事業)」の充実、強化をあげております。  
▼「シルバー人材センター」は、高齢化社会の進展に伴い、増大する高齢者の就業ニーズに積極的に対応するための新しい視点からの労働施策であり、その能力の有効な活用を図ることによって、活力ある高齢化社会を形成していくというものであります。

## 更新時期です

### 会員登録をお忘れなく

会員登録の更新時期です。お忘れなく！  
◎昭和六十年度の会員登録を引き続き希望される方は、新たに更新手続きが必要ですので、必ず左記の手続きを済ませてください。

▼期間：四月一日から四月二十日  
▼方法：旧会員証に年会費六百円を添えて事務局までお

さらには昭和75年には76% (いづれも尚高齢化対策プロジェクトチームによる)になるものと推計されています。  
▼また、この高齢化へのスピードは欧米諸国はもとより、我が国の平均に比べても早くなつており、数字の上でも高齢化社会の高速化と到来をはっきり

## 更新時期です

### 会員登録をお忘れなく

越してください。  
◎なお退会を希望される方は、お手数ですが旧会員証と退会届を事務局まで必ずご提出ください。なお、この場合に限り電話および郵送でも受け付けていただきます。

◎登録内容(希望職種・市内住居)に変更などがあつた方は、その旨事務局までご連絡ください。

さして昭と75年には76% (いづれも尚高齢化対策プロジェクトチームによる)になるものと推計されています。  
▼また、この高齢化へのスピードは欧米諸国はもとより、我が国の平均に比べても早くなつており、数字の上でも高齢化社会の高速化と到来をはっきり



▼それだけに、人口及び労働力の高齢化の中で、高齢者の果す役割は大きく、労働人口の一員としても、その活用は大いに期待されています。  
▼当センターとしましては、これらニーズに応えるため、積極的な努力を行っておりますが、主役となり、土台でもある会員一人一人の自覚と熱意が、シルバー人材センターの発展に必要な欠くべからざるものであることは、すでによくご承知のことと思ひます。  
▼今後、「シルバー人材センター」の歩みに幾つかの紆余曲折はあると思ひますが、市当局をはじめ、市内各事業所、一般ご家庭のご理解・ご援助を得るとともに、会員、役員・事務局が丸ごと一体となって、地についた、そして安定した発展を続けていくことを期するものです。

## 五月二十一日に開催

### 昭和六十年通常総会

### 市民会館で

▼昭和六十年通常総会を来る五月二十一日(火)午前十時三十分から、市立市民会館(大集会室)において開催をいたします。

## 一職群別懇談会を開催一

### 相互理解を深める

一職群別懇談会一  
昨年11月14日から12月12日にかけて、職群別に会員の方々に出席願ひ、事務局との懇談会を実施しました。

これは、平素、需用と供給のアンバランスと、会員本人の都合等もあつて就業紹介が充分出来ない会員の方々を中心に、事務局から受注および会員の紹介状況等の説明を行なうとともに、会員相互の親睦も図る目的で、呼びかけを行ったもので、全体で四名の方が熱心に出席され、活発な

意見交換が行なわれました。寄せられた質問や意見の中から主なものを抽出してみますと・・・「希望が集中している職種に關してもっとPRをして欲しい」、「会員の体力を考えて就業の紹介をして欲しい」、「会員が取得している技術を生かせる就業の場を」、「技能訓練・講習会などももっとたくさん開いてもらえないか」等々、疑問や注文が見がされ、それに対し事務局長をはじめそれぞれの担当から、詳細に説明を行ない、相互理解を深めるとともに今後の紹介業務の参考にする事を約束して懇談会をおわりました。

しかし、シルバー人材センターは会員自身で動かしにくい組織です。それぞれの方がどうすればシルバー人材センターがよくなつていくのかというのを考えて協力をしていかなければならぬのです。たとえ、事務局から紹介された仕事を当日になつてから断つたり、途中で仕事をやめてしまつたりというケースが時々ありますが、こういったことが「シルバーの会員はいいかげんだ」というように思われたりして他の会員の方々に迷惑をかけてしまつたりすることにもなりますので、それぞれの方がさらに自覚をもつて行動してもらいたいと思ひます。

もちろん事務局の職員も精一杯業務にあたつて行くつもりですが、みなさんのチョットした協力が大変強い励みになりますので、よろしくお願ひします。

11月15日と22日に、筆耕作業を希望の会員の方々を対象に、毛筆・硬筆の研修会を開きました。毛筆は宮崎英三郎氏を講師にむかえ21名の方が参加、硬筆は兵頭清城氏を講師にむかえ18名の方が参加、どちらも終日、熱心に受講されました。今後ともこういった技能研修会を実施する予定でおりますので、その時はどしどしご参加ください。

